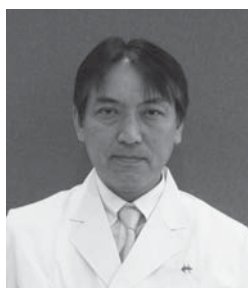


心臓外科



診療科長
白神 幸太郎

専門医資格等 心臓血管外科専門医、指導医
外科専門医
専門分野 成人心臓大血管疾患
得意疾患 成人心臓大血管手術

□ スタッフ

平成25年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	片岡 剛	心臓血管外科専門医 外科専門医	成人心臓大血管疾患	成人心臓大血管手術

□ 診療科の特徴

京都府南部地域における循環器疾患の基幹施設として機能すべく、2011年に開設。2013年までの実績により、心臓血管外科専門医認定機構より基幹施設認定を受けた。①心臓外科診療を通して人々のお役に立つ②手術や診療の透明性を確保する③循環器診療の最後の砦となるの3つの診療指針の下、循環器内科、血管外科、救命救急科、麻酔科との緊密な連携を維持しながら安全な医療を提供するように努力している。

□ 主な対象疾患

虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞など)に対する冠動脈バイパス術
弁膜症(大動脈弁疾患、僧帽弁疾患など)に対する弁形成術や弁置換術、不整脈手術
大血管疾患(胸部大動脈瘤、急性大動脈解離など)に対する人工血管置換術

□ 診療(業務)内容

心臓大血管疾患の手術適応およびリスク評価を体系的にかつ厳密に行い、安全な手術治療を目指す。一方で院内各専門科と緊密な連携を取り、周術期管理にあたる。緊急を要する症例について積極的に手術治療を行い、地域医療に貢献することを目標としている。

2011年4月心臓外科開設。2011年6月より12月までに34例、2012年65例、2013年74例の心臓大血管手術を施行。2013年は単独冠動脈バイパス術24例中、22例を体外循環非使用手術、2例を体外循環使用心拍動下手術として施行している。大動脈弁手術は21例、生体弁による大動脈弁置換術が12例、機械弁使用1例、弁形成術8例であった。僧帽弁閉鎖不全症に対しては弁形成術を第一選択としており、僧帽弁手術19例のうち弁形成術が13例であった。心房細動に対しても積極的にメイズ手術を施行し、6例中5例が正常洞調律に復帰した。予定手術における院内死亡は術後慢性期に脳梗塞を発症した僧帽弁形成術施行症例、拡大左開胸を要した上行弓部下大動脈置換術施行例の2例であり、緊急手術に手術死亡は認めず、院内手術死亡率は2.7%であった。

□ 診療実績(平成25年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
6名	69名	29.2日

外来患者数

1日平均患者数
4.3名

主な手術・検査の件数など

冠動脈バイパス術	心臓弁膜症手術	胸部大動脈手術	その他心臓手術
31件	36件	18件	8件

地域医療連携・広報活動

医師会、救急隊を通じての広報活動を行い、他院循環器内科とも積極的に協働している。院外からの手術目的紹介症例は年々増加している。2013年度は74例中24例32%が他院循環器内科からの紹介症例であった。また救急搬送からの緊急手術症例は16例(急性大動脈解離13例、虚血性心疾患3例)であり、全例社会復帰した。2013年より循環器内科ドクターカー導入に合わせてさらに広報活動を拡充している。

学術活動報告(学会・研究発表など)

演 題 ・ 学 会 名	
開心術後急性期における利尿剤効果の比較検討 トルバプタンvsフロセミド	H.25.7.4 京都
A型急性大動脈解離術後呼吸不全に対するシベレスタットの効果	H25.9.20 京都